

主題：アブラハム，イサク，ヤコブの神

メッセージ 3

アブラハムの神(2)

兄弟のために戦うことによって天の務めにおけるキリストを享受する

聖書：創 14:1-24．ヘブル 7:1-4, 25-26．8:2

- ・神のイスラエルとなって神を団体的に表現するためには，召会が団体のいばらやぶであって，アブラハム，イサク，ヤコブの神，すなわち復活した三一の神をもって燃えていることを見る必要があります　ガラテヤ 6:16．ローマ 2:28-29．ピリピ 3:3．出 3:2-6, 14-15．マタイ 22:31-32：
- A．神に召されたすべての人は，自分がいばらやぶ(神ののろいの下にいた贖われた罪人)にすぎず，火が内側で燃えていることを認識しなければなりません。この火は三一の神ご自身，大いなる「わたしはある」，アブラハム，イサク，ヤコブの神です　創 3:17-19．ヨハネ 8:58　ルカ 12:49-50．啓 4:5．5:6．1:14．ローマ 12:11。
- B．神の贖いのゆえに，創世記第3章の閉め出す炎は，出エジプト記第3章の訪れ内住する炎となり，信者たちの中に設置されました。それは，神の住まいである召会の中の聖なる神の栄光のためです　創 3:24．ガラテヤ 3:13-14, 21．テモテ 1:6-7．テモテ 3:15．参照，申 33:16 後半．民 9:15-16．レビ 6:12-13。
- ・信仰によって生活し，信仰の家族としての召会を建造するためには，アブラハムの神を知り，「わたしたちの父アブラハム……が持っていた信仰の足跡にしたがって歩く」必要があります　ローマ 4:12．ガラテヤ 5:25．6:10。
- ・アブラハムのように信仰によって生きることは，天の務めにおけるキリストと協力することです。それは祭壇と天幕の生活をするることによるだけでなく，兄弟のために戦うことにもよります　創 12:7-8．14:1-24：
- A．ロトはアブラハムと別れ，彼の天幕をソドムに移すという失敗をしました(13:5-12)。「さてソドムの人々は，とても悪く，エホバに対して罪深かった」(13節)：
 - 1．アブラハムから離れることは，神の目標，神の保護から離れることでした　参照，ピリピ 3:17．コリント 4:16-17．ヘブル 13:7。
 - 2．わたしたちは神のエコノミーの中の正常な人に結び付き，従う必要があります。それは，命の路線と主の行動の流れの中に守られるためです　コリント 15:33．箴 13:20．テモテ 1:15-18．2:22。
- B．ソドムの周りの地は豊かであったので，ロトはソドムに向かって旅をしました。結局，彼はその都に移って，そこに住み，そこに定住しました。神の主権の下で，ソドムは征服され，ロトは捕虜にされました　創 14:12．参照，エレミヤ 2:13．コリント 1:9。
- C．アブラハムは自分の兄弟の弱点を勘定せず，ロトの苦難と災難を喜びませんでした。アブラハムに関する限り，自分の兄弟が捕らえられてしまったことを見るのは恥でした　1ヨハネ 5:16 前半．イザヤ 58:6-7．箴 10:12．ヤコブ 5:19-20。
- D．アブラハムはロトの捕らえられたことについて情報を受けた時，ロトのために戦う

という強い決心をしました。また彼は出て行って戦う前に祈り，いと高き神，天と地の所有者であるエホバに手を上げました 創 14:14, 22 . テモテ 2:8。

E . アブラハムが彼の三百十八人を引き連れて四人の王とその軍勢と戦うことを決意したのは，その光景の背後にある事実によりました。すなわち，メルキゼデクがロト，アブラハム，アブラハムの戦いのためにとりなしていたのです 創 14:18-20 . ヘブル 7:1-4, 25-26 . 4:14-16 . ローマ 8:26-29, 34 :

1 . アブラハムの神を知ることは，メルキゼデクの位によるわたしたちの王なる大祭司としての，天の務めにおけるキリストを知ることです ヘブル 5:6, 10 :

a . キリストは地上の務めにおいて，アロンの位による大祭司であり，罪を取り除きました(ヨハネ 1:29 . ヘブル 9:26)。キリストは天の務めにおいて，メルキゼデクの位による大祭司に定められ，手順を経た神をわたしたちに供給して罪に打ち勝たせました(創 14:18-20 . ヘブル 8:2 . 参照，ゼカリヤ 6:13)。

b . 義の王，またサレム(平和)の王としての王職における大祭司であるキリストを知ることは，彼の頭首権また主権の下にいて，命を与える霊としての彼に内側を支配していただき，わたしたちが，義と平和が住む新エルサレムになることです ヘブル 7:1-3 . イザヤ 9:6 . 32:1, 17 . ペテロ 3:13 . エペソ 1:10。

c . 祭司職におけるキリストを知ることは，彼と接触して，彼で浸透され，飽和され，彼とミングリングされることです。それは，彼がわたしたちのために祈り，神の御前でわたしたちの案件を顧み，手順を経た神をパンとぶどう酒としてわたしたちに供給することの中に入ることによります マタイ 26:26-28。

2 . 使徒の務めはキリストの天の務めと協力して，「兄弟のために戦います」。それは，神と神のエコノミーにしたがって聖徒たちのためにとりなすことにより，手順を経た神を聖徒たちの中に供給して，彼らの勝利を得る供給また享受とならせることによります ヘブル 7:25 . 8:2 . ルカ 22:31-32 . ヨハネ 21:15-17 . 使徒 6:4 . 啓 1:12-13 . 参照，出 28:9-12, 15-21, 29-30。

3 . 王なる大祭司としての天の務めにおけるキリストを享受する道は，詩篇第 110 篇 3 節に啓示されています 「あなたの民は，あなたの戦いの日に，献身の輝きの中で，自発的に自らをささげる。あなたの若者はあなたにとって，夜明けの胎から出る露のようになる」。

F . わたしたちが天の務めにおけるキリストを享受した現れは，自分の物質の所有を扱う方法に見られます :

1 . 地上での主の動きのために，わたしたちは地上の物質をもって昇天した主を敬うことによって，アブラハムの模範に従う必要があります。「アブラムは，すべての物の十分の一を彼に与えた」 創 14:20 . ヘブル 7:2, 4 . 参照，マラキ 3:8-10 . ルカ 6:38。

2 . 地上での主の動きのために，わたしたちは手順を経た三一の神の豊富を享受することによって，地上の物質の誘惑に打ち勝つ必要があります 創 14:21-24 . 参照，列王下 5:15-27 . ヨハネ 7-8。